

# 山形県総合交通ビジョン（案）〔概要〕

## 第1章 山形県の交通の現状

### 1 国内外の広域的な移動

#### ◇交通流動の状況

##### 【国内移動】

- 本県の都道府県間旅客流動量は、東北地方の中で4番目の規模。宮城県との往来が5割を占め、次いで福島県、南関東、秋田県が多い
- 利用交通機関は、乗用車等が8割を占めるが、首都圏や中京圏との往来では鉄道が5～6割、近畿圏では航空が7割を占める

##### 【国際移動】

- 本県を訪問する外国人は増加傾向にあるが、訪日外国人の本県訪問率は0.4%前後で推移し、全国でも低い水準
- 国籍・地域別では台湾が最も多く6割を占め、次いで、香港、中国が多い
- 本県訪問外国人が入出国に利用する空港は、成田空港が4割、仙台空港が3割、羽田空港が2割
- 本県訪問外国人は、首都圏との往来では6割が鉄道を利用。東北を周遊する旅客も多い
- 本県居住者の出国者数、出国率は減少傾向

#### ◇交通基盤の状況

##### 【空港】

- 山形空港に東京、大阪、名古屋、札幌の各便、庄内空港に東京便が就航し、利用者も回復傾向
- 国際チャーター便はコロナ前まで増加、国際定期便は未就航

##### 【港湾】

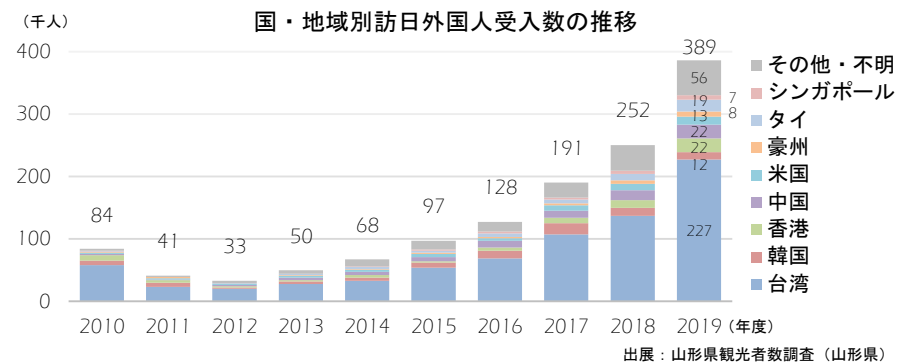
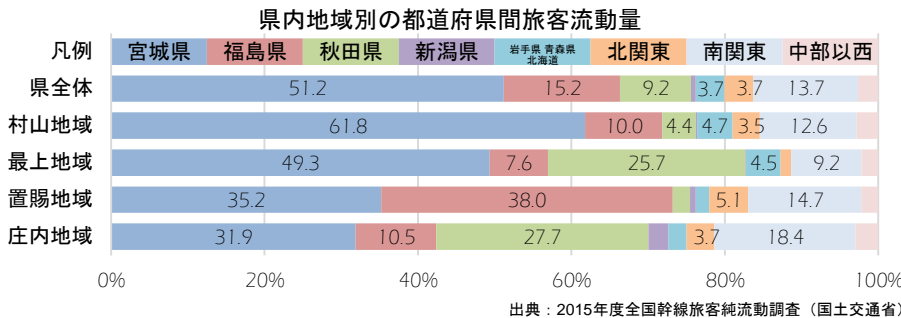
- 酒田港への外航クルーズ船の寄港がコロナ前まで増加傾向、令和5年度から寄港再開

##### 【鉄道】

- 山形新幹線は、全国各地で新幹線整備が進展し、首都圏との移動の時間的優位性が低下。福島～米沢間を中心に輸送障害が発生
- 羽越本線は、新潟駅における新幹線との同一ホーム対面乗換等により利便性が向上するも、依然として速達性、安定性が課題

##### 【道路】

- 東北中央自動車道等の高規格道路の整備が進むも、未事業化区間も多く、県境部等にはミッシングリンクが存在



### 2 地域間・地域内の移動

#### ◇交通流動の状況

- 日常生活における地域間流動は、内陸地域内が多く、庄内地域～内陸地域間は少ない。内陸地域では、総じて村山地域への流入が多い
- 県内の通勤者数・通学者数は減少傾向にあり、1995年から2020年の25年間で、それぞれ1割、4割減少
- 通勤先、通学先ともに自市町村内が6～7割を占めるが、自市町村以外の割合が増加しており、広域化の傾向
- 通勤時の交通手段は、自家用車が約8割、通学時の交通手段は、自転車約4割、鉄道が約2割
- 買い物は、最寄品、買回品ともに、自市町村内の割合が高いが、買回品の方が自市町村以外の割合が高い。移動手段は自家用車が9割

#### ◇交通基盤の状況

##### 【鉄道】

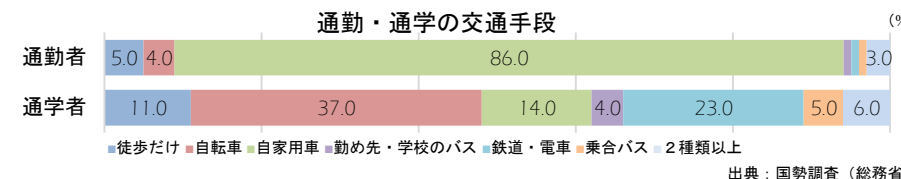
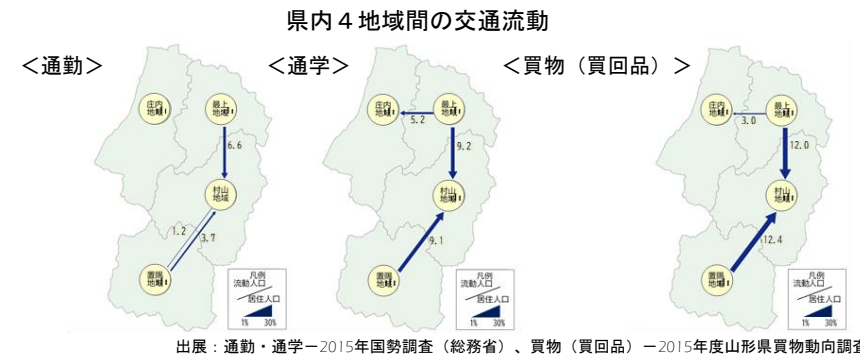
- 在来線は年々利用者が減少しており、特に中山間地域を走る路線の利用減少が顕著。令和4年8月の豪雨により米坂線の一部区間がバス代行

##### 【バス・デマンド交通等】

- 県内乗合バスの利用者は年々減少しており、特に新型コロナウイルスの影響により大幅に減少。減便・廃止が増加傾向にあり、徐々にデマンド交通にシフト

##### 【道路】

- 生活圏間・都市間ネットワーク及び生活幹線道路等の整備を推進



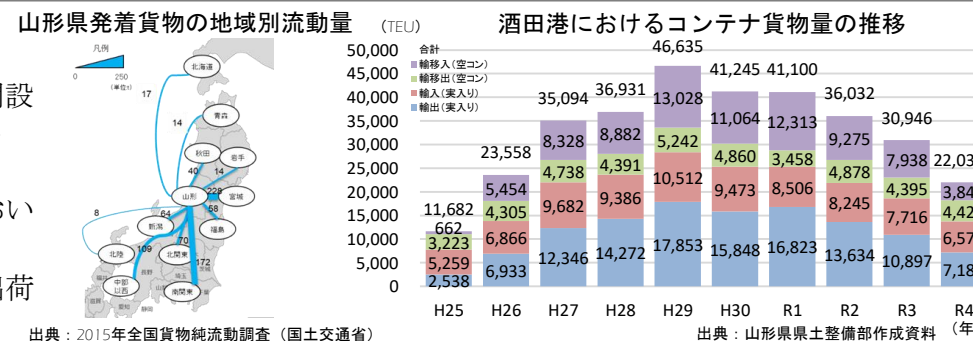
### 3 物の移動

#### ◇交通流動の状況

- 本県発着の国内貨物の貨物量は減少傾向、国際貨物は横ばい。宮城県等の南東北との流動量が多く3割強を占め、次いで南関東が多い
- 輸送機関は、トラックが9割以上を占める
- 輸出入コンテナの積卸港の割合は、酒田港が5割弱、京浜港が4割強。近年酒田港のコンテナ貨物取扱量は減少傾向

#### ◇交通基盤の状況

- 酒田港と釜山港との間に国際定期コンテナ航路が開設されて以降、国際コンテナターミナルの整備やポートセールスを推進
- 貨物列車の運行は羽越本線のみ。山形新幹線等において貨客混載による荷物輸送を実施
- 山形空港における貨物の取扱いは、さくらんぼの出荷時期のみ。庄内空港は通年の取扱い



## 第2章 山形県の交通を取り巻く動向・課題

### 1 国際ネットワークに関する動向

- 世界経済の中心が欧米からアジア太平洋地域へ／訪日外国人旅行者の回復及び拡大（個人旅行、リピーター、地方誘客の拡大）
- 首都圏空港（羽田空港・成田空港）の機能強化／LCCや外国航空会社による地方空港への就航拡大
- 海上物流における日本海ルートの高まり／クルーズ船の寄港の回復及び拡大

### 3 持続可能な地域公共交通の構築

- 地域公共交通のリ・デザイン（ローカル鉄道の再構築、地域公共交通における共創、交通DX・GX）
- 人口減少や自家用車利用の普及等に伴う地域公共交通の利用者の減少／交通弱者の移動の確保、広域生活圏の形成の必要性
- 交通事業者における担い手の不足

### 5 環境への配慮

- 2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素化の動きの加速／ゼロカーボンやまがた2050宣言・第4次山形県環境計画に基づく温室効果ガス排出削減の取組
- 航空分野の脱炭素化や港湾における脱炭素化（カーボンニュートラルポート）の推進

### 2 国内広域ネットワークに関する動向

- デジタル田園都市国家構想の実現に必要な交通の整備／「シームレスな拠点連結型国土」の構築に向けた全国的な回廊ネットワークの形成、日本中央回廊による効果の全国への波及等
- LCCや地域航空会社等による国内航空ネットワークの拡大／全国を貫く幹線鉄道ネットワークの形成（北海道新幹線、北陸新幹線等の進展）／高規格道路や在来線鉄道による広域ネットワークの重要性

### 4 安全・安心な交通の確保

- 甚大な被害をもたらす自然災害の発生が増加／交通インフラの老朽化の進行に伴う修繕・更新時期の到来／防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の着実な推進／複層的な交通ネットワークによるリダンダンシー機能の確保
- 誰もが安全に安心して移動できるバリアフリー・ユニバーサルデザインの普及促進

### 6 交通に関する新たな技術

- デジタル技術等の活用による新しいモビリティサービス（自動運転、MaaS等）の導入、交通事業者のDX推進
- 次世代モビリティシステム（空飛ぶクルマ等）の技術開発や実用化を見据えた制度整備

## 第3章 山形県が目指す交通の将来像と、その実現に向けた取組の方向性

### 交通の充実によって実現する山形県の将来像

国内外とのヒトやモノの活発な往来による産業・地域の活性化

誰もが自由・快適に移動できることによる一人ひとりの希望の実現、幸せの実感

地域に必要なサービスが提供される持続可能な地域社会

災害の激甚化等が進む中での安全・安心な暮らし

カーボンニュートラル達成などの環境との調和

### 国内外との交流や産業発展の基盤となる広域交通の充実・強化

### 地域の暮らしを支える、誰もが利用しやすい持続可能な地域交通の構築

### 様々な分野との連携による地域課題の解決等と一体となった交通の利用拡大

#### <将来像のイメージ>

多様な地域との間で、短時間、高頻度かつ安定性が高く、人や物の移動が可能な広域交通ネットワークが形成されている。

#### <実現に向けた取組の方向性>

- 日本中央回廊、東北・北海道等の近隣地域、国外との往来の活性化や、リダンダンシー確保等に向けた、山形新幹線米沢トンネル(仮称)の早期事業化・整備、空港の機能強化・路線の充実、高規格道路のミッシングリンク解消等の推進
- インバウンド需要を取り込むための、航空チャーター便・クルーズ船誘致の推進・国際定期便の実現や、クルーズ船誘致、首都圏空港等からの往来拡大、県外空港との連携や鉄道と空港の片道利用の推進等による周遊旅行者の獲得

#### <将来像のイメージ>

多様化・広域化する移動ニーズに対応し、老若男女誰もが安全・安心かつ快適に行きたいところに移動できて、持続可能性が高い地域交通が実現されている。

#### <実現に向けた取組の方向性>

- 地域内における生活に必要な交通の維持・充実と内陸～庄内間等の地域間ネットワークの強化
- 鉄道ネットワークを最大限に活かすための、鉄道沿線活性化による利用拡大の推進、機能強化・利便性の向上の実現
- バス、デマンド交通等について、地域の交通を総動員するとともに、デジタル技術の活用等による利便性向上・シームレスな移動の実現を図ることでの、持続可能な地域公共交通の構築
- 交通事業者のDXの推進等による生産性向上、人手不足の解消、他分野連携等の取組の後押し

#### <将来像のイメージ>

他分野と連携した新たな交通需要の創出や利用拡大の取組により、交通利用の拡大と地域課題の解決・地域の活性化が一体的に図られ、それが交通の機能強化を後押しして、交通の充実と利用拡大の好循環が生み出されている。

#### <実現に向けた取組の方向性>

- 空港、港湾等のモードごとの利用拡大の推進、県外空港との連携や鉄道と空港の片道利用等の他地域・モード間の連携の推進
- まちづくり、観光、農業、教育、医療等の様々な分野と交通の連携による、地域課題の解決と交通需要の創出の推進、カーボンニュートラル等の公共交通利用のメリットを示すことによる利用促進
- 航空や港湾等の分野における官民連携による脱炭素化の推進

### 山形県が目指す交通の将来像

国内外との交流や産業発展の基盤となる広域交通の充実・強化

地域の暮らしを支える、誰もが利用しやすい持続可能な地域交通の構築

様々な分野との連携による地域課題の解決等と一体となった交通の利用拡大

- 広域交通と地域交通のシームレスな接続
- 交通の充実と需要の創出に両面から取り組むことによる好循環の創出



## 国内外との交流や産業発展の基盤となる広域交通の充実・強化

### ■県内空港への国際便の就航拡大、国際定期便の就航

- 国際チャーター便の誘致拡大（就航国・地域の拡大）／安定的な需要が見込まれる国・地域におけるチャーター便の通年運航
- チャーター便の就航実績を基に定期路線開設へ

### ■国際化対応等のための空港の機能強化

- 庄内空港における国際便の円滑な受け入れ等に必要となるターミナルビルの機能強化の推進／国際基準に準拠した滑走路端安全区域（RESA）の整備推進
- 国際チャーター便の就航地拡大・国際定期路線の開設に向けた滑走路延長等の空港機能強化の検討／空港運営の民間委託（コンセッション）の検討

### ■全国とつながる国内航空ネットワークの拡充

- 国内定期便における増便、機材大型化、ダイヤ改善の推進（庄内ー羽田便の5便化、山形ー羽田便の機材大型化等）
- 新規路線就航に向けた航空会社への働きかけ／空港からの二次交通の充実・利便性向上

### ■外航クルーズ船の誘致拡大、受入環境の整備

- 外航クルーズ船の誘致推進／クルーズ利用者の周遊を促進するためのアクセス道路の充実や二次交通の利便性

### ■コンテナ貨物の取扱いやクルーズ船の寄港拡大に対応した酒田港の機能強化

- 船舶の大型化への対応や安全な入出港等のための岸壁や防波堤等の整備促進／国際フィーダー航路の誘致／県内陸部や太平洋側からの貨物輸送の利便性・信頼性の向上を図る道路整備の促進
- 外航クルーズ船の寄港拡大に対応するふ頭利用の見直しや新規岸壁の整備促進

### ■米沢トンネル（仮称）、奥羽・羽越新幹線の整備実現、幹線鉄道ネットワークの強化

- 山形新幹線米沢トンネル（仮称）の早期事業化に向けた共同調査の推進、事業スキームの確定
- 羽越本線の高速化、安定輸送確保に向けた鉄道事業者への働きかけ／奥羽・羽越新幹線の整備実現に向けた機運醸成、米沢トンネル（仮称）を足掛かりとした段階的な高速化・安定化の検討

### ■多様な交流を支える広域道路ネットワークの形成・充実

- 東北中央自動車道、日本海沿岸東北自動車道の早期全線供用／新庄酒田道路や新潟山形南部連絡道路の整備促進／高規格道路と鉄道・空港・港湾等とのアクセス道路の整備推進／スマートICやゲートウェイ型「道の駅」の整備促進
- 東北横断自動車道酒田線や石巻新庄道路の整備促進

## 地域の暮らしを支える、誰もが利用しやすく持続可能な地域交通の構築

### ■地域の暮らしを支え、観光等の交流の基盤となる鉄道ネットワークの維持・機能強化

- 令和4年8月の豪雨で被災した米坂線の早期復旧／フラワー長井線の安全で安定した運行の維持、利便性向上
- 在来線鉄道路線の維持・存続、ダイヤ改善等の利便性向上の推進

### ■地域間・地域内の移動を支えるバス路線の維持・利便性向上

- 経路検索、キャッシュレス対応等による利便性向上の推進
- 地域公共交通活性化協議会等による路線の見直しや市町村をまたぐ路線の調整／路線バス、コミュニティバスへの支援

### ■地域内の細かく多様なニーズに対応するためのデマンド交通の整備、様々な輸送サービスの活用

- タクシー事業者の活用による地域公共交通の充実／NPO等による移動支援や送迎サービスなどの多様な輸送資源の活用
- 地域公共交通活性化協議会等による市町村をまたぐデマンド交通の調整／技術の活用による利便性・効率性が高いデマンド交通の構築／デマンド交通への支援

### ■データ活用、DXの推進等による地域公共交通の利便性の向上、移動のシームレス化

- オープンデータの整備・活用／チェリカ導入等のキャッシュレス決済推進による乗継の利便性向上／自動運転の実証実験の後押し、社会実装促進
- 地域公共交通のバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の促進

### ■地域の生活を支える担い手である交通事業者の人手不足の解消、生産性の向上

- 地域交通事業者における雇用環境改善の取組等のサポート等によるバス・タクシードライバーの確保／空港のグランドハンドリングを担う人材の確保
- 自動運転技術の導入等による経営効率化の推進

### ■県内の往来を支える道路ネットワークの充実・機能強化の促進

- 一般国道や主要な県道において、道路の改築・拡幅やバイパス整備等を推進／道路の防災・減災対策、道路施設の長寿命化、交通安全対策の推進

## 様々な分野との連携等による交通の利用拡大と地域の課題解決

### ■県内空港の利用拡大の推進

- ワーケーション等の新たな需要、若者の利用拡大等に重点を置いた、山形・庄内両空港におけるマーケティングに基づく利用拡大の推進
- 羽田空港等からの国際便・国内便の乗継利用を促進するための情報発信／バスポート取得支援、若者の海外渡航推進、姉妹友好都市との交流等によるアウトバウンド推進

### ■観光等における周遊旅客の積極的な取込み

- 仙台空港からのインバウンド等の取り込みに向けたアクセス充実
- 県内2空港、県内空港と県外空港、県内空港と鉄道等の相互利用の推進

### ■ポートセールス活動及び広告宣伝活動を通じた酒田港の振興

- バルク船からコンテナ船での輸出入への振替の促進
- 積極的なポートセールスの実施

### ■やまがた鉄道沿線活性化プロジェクトの推進による鉄道ネットワーク全体の利用拡大

- やまがた鉄道沿線活性化プロジェクト推進協議会による市町村、関係団体、鉄道事業者と連携した沿線活性化の推進
- 鉄道を活用した貨物輸送の事業化の促進／駅を中心としたまちづくりの促進

### ■交通ネットワークと連携したまちづくりの推進

- 中心市街地における地域公共交通の充実と一体となった「コンパクトシティ」の実現／まちのにぎわい創出に向けた歩行空間の確保、自転車利用促進に向けた環境の整備
- 立地適正化計画と地域公共交通計画の連携／新しいモビリティサービスによって求められる土地利用やインフラ整備のあり方の変化に対応した交通まちづくりの推進

### ■農業、教育、医療、介護等の様々な分野と交通の連携による地域課題の解決、交通需要の創出

- 他分野との連携による地域課題解決の取組みの掘り起こし／健康やカーボンニュートラルへの貢献等の地域公共交通利用の意義を示すことによる公共交通の利用促進
- 他分野連携の取組の定着・拡充による交通需要の創出と交通事業者の経営改善

### ■交通の各分野における脱炭素化の推進

- 山形・庄内両空港及び酒田港における脱炭素化推進協議会の設立と脱炭素化推進計画の策定
- 脱炭素化推進計画に基づく、山形・庄内両空港や酒田港及び臨港地区の脱炭素化の推進

## ◇交通ネットワークと移動のイメージ

